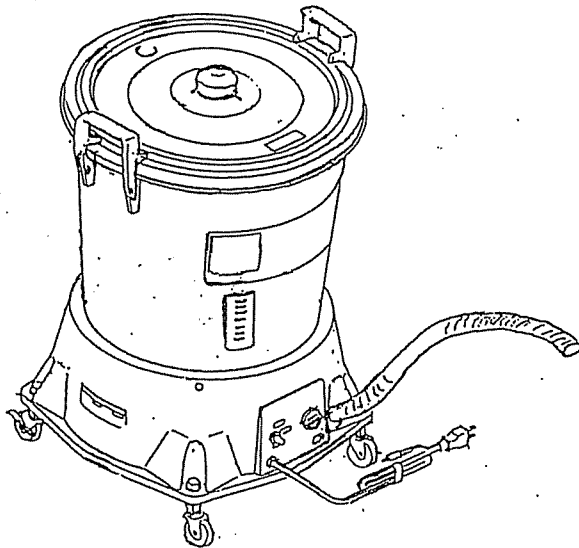




糊自動攪拌供給機

PLUS 1 mini



取扱説明書

安全にお使いいただくために必ず
お読みください。

この度は糊自動攪拌供給機 プラス 1 mini(プラス1ミニ)をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品を安全にお使いいただくための事柄を記載してあります。ご使用前に、本書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。

また、本機をご利用の際に本書が必要になったときすぐに利用できるように、大切に保管しておいてください。

極東産機

H18.06.26

参考図

目次

PLUS 1 mini (プラス1ミニ) の特徴	1
安全上のご注意	2
全体外観図及び各部名称	4
各部の操作	5
作業準備	5
作業要領	6
作業時の注意事項	9
機械の掃除と点検	10
仕様	10

PLUS 1 mini (プラス1ミニ) の特徴

- ・これ1台で糊の攪拌から供給まで可能です。
- ・タイマー式攪拌停止機能を採用。設定時間で停止しますので、回し過ぎなどの心配がありません。
- ・スイッチを切替えるだけのワンタッチ操作で糊を供給する事が出来ます。
- ・密閉式ですので、糊へのゴミ、ホコリ等の混入を防ぎます。
- ・糊の供給が簡単にできるフットスイッチ対応（オプション）
- ・自動糊付機 Hiβ-VL、GD、Gdash、Gdash II、Athlead、Prime との接続により、糊の自動供給が可能となります。
（接続には糊検知、糊供給ジョイント等のオプション品が必要です。）

安全上のご注意

本機を御使用頂くには、正しい操作と定期的な保守・点検が不可欠です。以下の注意事項及びこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分理解されるまで作業は行わないで下さい。

この取扱説明書では、取扱いを誤った場合発生が予想される危害、損害に対する注意事項をその程度により、**・ [警告]** **・ [注意]** **[メモ]** という3項目に分類して表示しています。

- ・ **[警告]** …… この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、人身事故につながるおそれのある注意事項を示しています。
- ・ **[注意]** …… この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、機械の破損・故障につながる恐れのある注意事項を示しています。
- [メモ]** …… これを知っておくと便利という補足事項

・ 警告



- ・ 電源プラグを差し込むときは、必ず切替スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。突然攪拌ブレードが回転したり、ポンプが作動して糊があふれだす等の事故を未然に防ぎます。



- ・ 運転中はバケツや底カバー内に手を入れないでください。けがををする恐れがあります。



- ・ 水や糊で濡れた手で操作しないでください。また、アースを必ず取ってご使用ください。感電する恐れがあります。

■ 注意



禁 止

- ・精密機械ですからぶついたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。



禁 止

- ・高温・多湿な場所に保管しないでください。特に夏季、日光の当たる車中に放置しないでください。変色、変形することがあります。



禁 止

- ・バケツ内には砂や小石など、糊以外の異物を入れないでください。故障の原因となります。



禁 止

- ・ポンプのから運転は絶対にしないでください。ポンプ故障の原因になります。



注 意

- ・運搬するときは蓋をしっかりと閉め、ホースを固定してください。また、運転中も蓋をしっかりと閉めて下さい。糊がこぼれるのを未然に防ぎます。



注 意

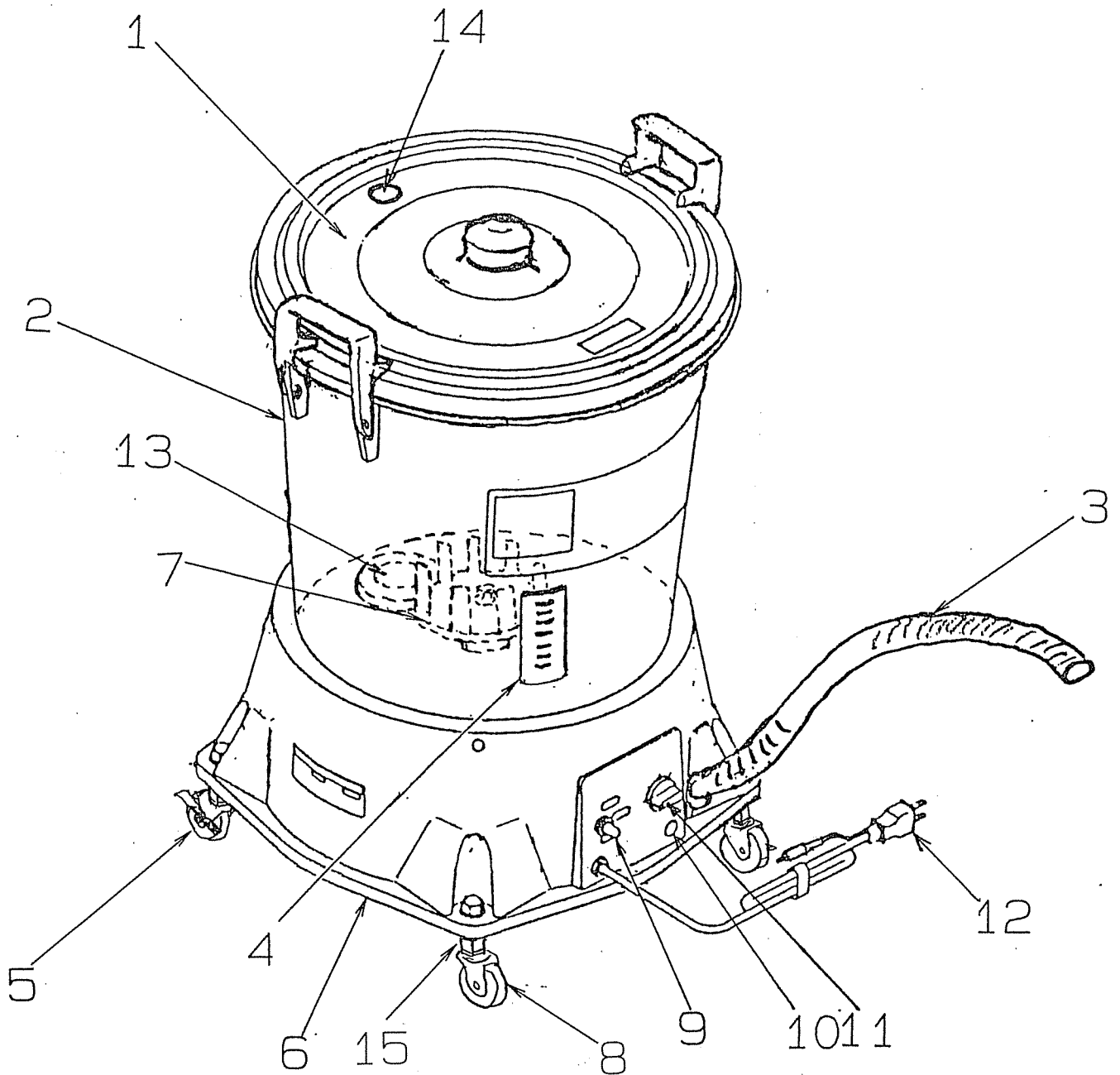
- ・運転中は、キャスターを必ずロックしてください。動いたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。



注 意

- ・使用後はきれいに洗浄してください。長期間放置しますとポンプ内で糊が乾燥し、故障の原因となります。

全体外観図及び各部名称



- | | | |
|---------------|-------------|------------|
| 1. 蓋 | 6. 底カバー | 11. 攪拌タイマー |
| 2. 本体 | 7. 攪拌ブレード | 12. 電源プラグ |
| 3. 糊供給ホース | 8. キャスター | 13. 吸入口 |
| 4. 水量目盛り | 9. 切換スイッチ | 14. ホース差込口 |
| 5. ブレーキ付キャスター | 10. 拡張用スペース | 15. ロングナット |

(拡張用スペースについて)

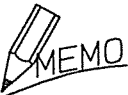
拡張用スペースを利用して、オプションユニットを取り付けることができます。

オプション：フットスイッチユニット 品番 11-6339

各部の操作


攪拌・ポンプ切換スイッチ …… 糊の攪拌とポンプによる糊供給とを切り換えます。攪拌側に入れると攪拌、ポンプ側に入れるとポンプで糊を供給します。

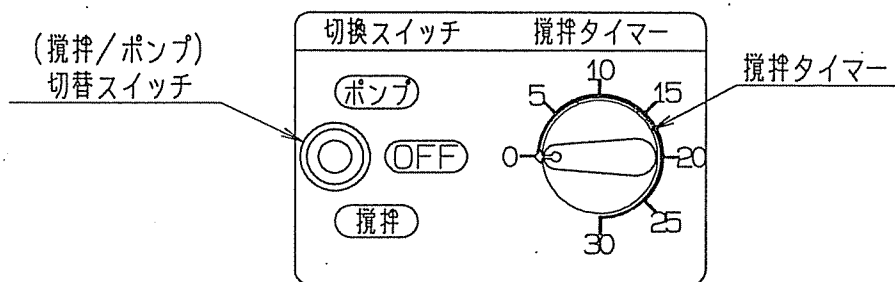
攪拌時間タイマー …… 攪拌時間を設定します。タイマーが0になると、攪拌をやめて停止します。ポンプはタイマーに関係なく動きます。

 MEMO 時間の目盛りは目安です。

ポンプスイッチ …… ポンプのON-OFFを切り換えます。攪拌・ポンプ切換スイッチが攪拌又はOFFになっているときは、このスイッチに関係なくポンプは停止します。


目盛板 …… 本体側面には、水量計測用の目盛が付いています。計量の目安としてご利用下さい。

 MEMO 目盛は量の目安です。正確に計量する場合は計量バケツ等を御利用下さい。



作業準備

1. プラス1ミニを設置します。
キャスターは必ずロックするようにして下さい。

 MEMO キャスターは外観図のように外側を向けて設置すると、転倒等の事故を未然に防げます。

2. 攪拌・ポンプ切換スイッチがOFFになっていることを確認し、電源プラグを電源 (AC100V) に接続して下さい。

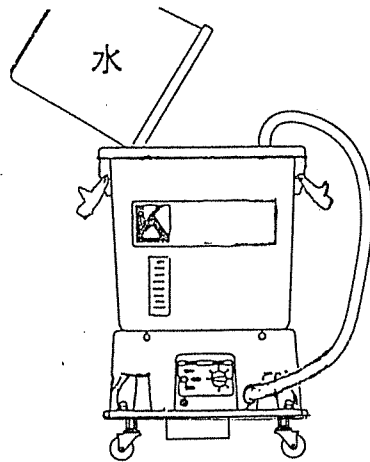
作業要領

・ペースト糊（当社βノーリ等）の場合

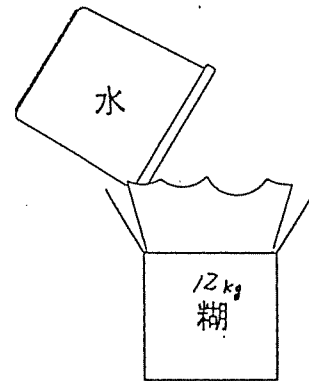
あらかじめ糊の希釈率を決め、糊と必要量の水を準備しておきます。


ここでは、糊：水＝100：70（糊12Kg：水8.4L）の場合を想定して説明します。

- ① プラス1ミニの蓋を開けて、先に水を7.4Lほど入れます。
このときホースはバケツの中に入れておいて下さい。



- ② 糊の箱を開け、袋の中に残りの水をいれます。

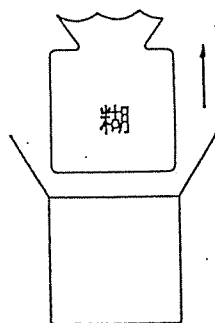




注意

必ず水を先にいれて下さい。糊を先に入れると攪拌できず、故障の原因となります。

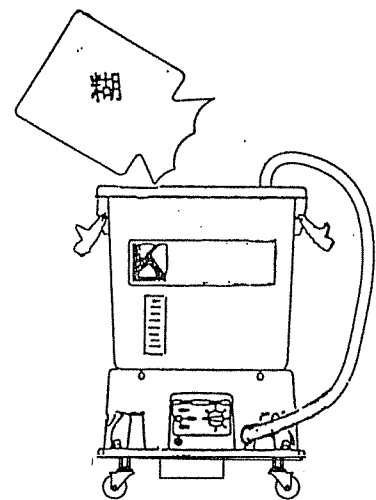
- ④ 糊と袋に入っている水とをプラス1ミニに入れて下さい。

- ③ 箱から袋ごと糊を取り出します。

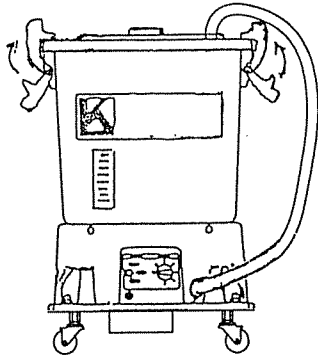



MEMO

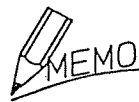
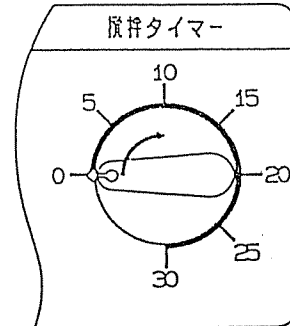
糊は12kgが溶けるように作られていますので18kgの糊からご使用の場合は、12kg入れてご使用下さい。



- ⑤ 蓋をしてフックをしっかりと引っかけて下さい。
このときホースは差し込み口から中に差し込んでおきます。



- ⑥ タイマーつまみを右に回して攪拌時間を設定し、攪拌・ポンプ切換スイッチを「攪拌」に入れると攪拌を開始します。



攪拌時間を5分以下に設定する場合は、つまみを一旦5分以上まで回した後、左へ戻しながらあわせて下さい。

- ⑦ 攪拌が終われば、ポンプ内に残っている水を出します。

攪拌・ポンプ切換スイッチを「ポンプ」に切換え、ポンプ内に残った水をバケツ内へ移します。水が抜けた頃を見計らって、再度スイッチを攪拌にしてしばらく攪拌して下さい。

- ⑧ 糊を入れたい容器にホースを差し込み、切換スイッチをポンプにして、糊を供給して下さい。

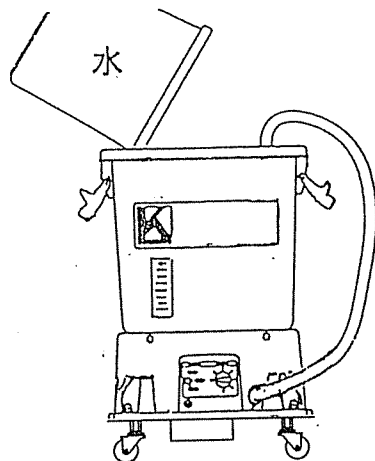


通常10分程度で攪拌できますが、水温、溶かす量によって時間は変わります。混ざり具合が悪いときは再度攪拌して下さい。

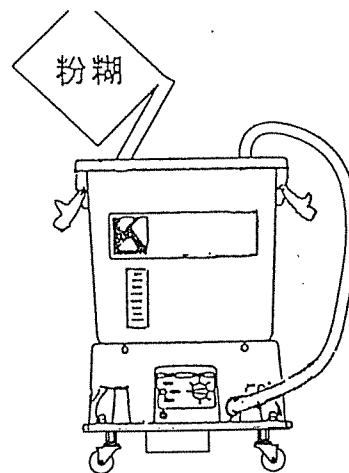
・「コナダイン」シリーズの粉糊の場合

当社「コナダイン」シリーズの粉糊を攪拌する場合は、下記手順に従って作業しますとより効果的です。

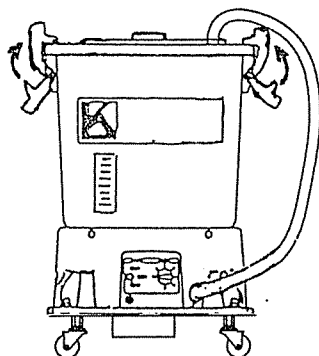
粉糊 1 に対して水 7～8 の割合で溶かします。（粉糊 2Kg：水 14～16L）



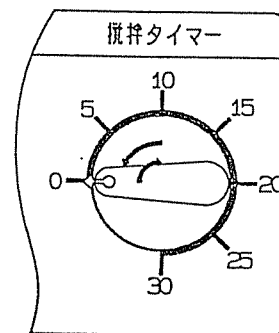
- ①バケツ内に、必要量の水を入れます。
目盛板の14L又は16Lの線を目安に適量の水を入れて下さい。（粉糊2kgに対して）



- ②粉糊を入れます。
（プラス1ミニで溶かせる粉糊は、最大2kgです。）



- ③蓋をして、フックをきっちり閉めます。
ホースは蓋の穴から中に差し込んで下さい。



- ④最初に2分程度攪拌します。
粉糊が水に分散したら、その状態で10分以上放置しておいて下さい。
その後、改めて2～3分攪拌して下さい。

以降は、ペースト糊の手順⑦以降と同様に作業を行って下さい。



攪拌時間は、水温、溶かす量によって変わりますので、上記の時間は一応の目安として下さい。

作業時の注意事項

必ずアースを取ってから使用して下さい。取らないと感電等の恐れがあります。

キャスターは必ずロックして作業して下さい。転倒等の事故を防ぎます。

電源プラグをコンセントに差し込む場合は、必ず切替スイッチがOFFになっていることを確認してください。突然攪拌ブレードが回転したり、ポンプが作動して糊があふれ出す等の事故を未然に防ぎます。

通常、糊の攪拌時間は10分程度です。必要以上に長く攪拌しないで下さい。機械の故障の原因となります。

頻繁にご使用になった場合や、長時間に亘ってご使用になった場合など、モーターの温度が上昇すると、保護回路が働いてモーターが停止します。

このような場合は、しばらく電源を切ったまま放置しておいて下さい。温度が下がれば自動的に復帰します。

固めの糊を使用した場合などに、ポンプ内に気泡を噛みこんで糊が吐出しなくなる場合がありますが、新型ポンプ採用の為そのまま使用してポンプ内の気泡がホースから出てしまえば従来と同じように吐出します。

攪拌した糊を使用後、続けて別の糊を攪拌するときは、必要な量の水を入れたあと一度ポンプを動かして、ポンプ内に残った糊を吐出させてから糊を投入・攪拌してください。

低電圧（90V以下）状態では、機械が作動しなかったり、攪拌・ポンプ能力が落ちる場合があります。このような場合は昇圧器等で電圧を上げてお使い下さい。

冬場など、気温が低い状態で放置しますと、糊の吐出性能が低下する場合があります。

機械の掃除と点検

作業が終われば、機械の掃除を行って下さい。

フタをしっかりと閉めておけば、数日の間、糊の保管が可能です。保管が長期にわたる場合は、糊を別の容器に移し、機械の清掃を行って下さい。

掃除を怠った場合、ポンプ内で糊が乾燥し、故障の原因となります。

1. バケツ内に糊が残っている場合は、別の容器に移して下さい。
2. バケツ内に水を入れ、ポンプスイッチをONにしてポンプを作動させます。
ポンプ内の糊が出てしまうまで、しばらく水を循環させて下さい。
3. ポンプ内の糊を出したらポンプを止め、バケツ内に付いた糊を洗い落として下さい。
吸入口や、攪拌ブレードの周りは特にきれいに洗って下さい。
4. 残った水を捨て、乾いた雑巾などで水分を拭き取って下さい。



プラス1ミニの外側を洗うときは、底カバー内に水が入らないように注意して下さい。水が入れば、モーターより漏電、ショートする恐れがあります。
(汚れを素早く拭き取る用にして下さい。)

仕様

外形寸法	H 605 × φ 415 mm.
重量	約14.5Kg
動力	AC100V・300W
容器容量	35L (有効約20L)
糊供給量	20L/分 (水：糊=0.5：1、60Hz)
攪拌時間	約10分間 (水：糊=0.5：1)
適用糊	ペースト糊(12kg)・コナダインシリーズ(2kg)

製品仕様は予告無く変更する場合があります。

お問い合わせ先

インテリア機器の総合メーカー



極東産機株式会社

〒679-4195 兵庫県たつの市龍野町日飼190 TEL0791-62-1771
URL <http://www.kyokuto-sanki.co.jp/>

お客様相談室 0120-079177 (土・日・祝日を除く 10:00~18:00)